

島津試験 CSC ニュース No.206

SALD シリーズ新製品 SALD-2200 のご紹介 ～ 旧機種とのデータ互換性について～

弊社は国産初のレーザ回折式粒度分布測定装置 SALD-1000 を 1976 年に発売して以来、常に新しいレーザ回折式粒度分布測定装置の開発を進めて参りました。そして最新型の測定装置が SALD-2200 です。この装置は従来機種の SALD-2100 の特徴を引き継ぎながら、より使い易い装置を目指して開発されたものです。その特長として、

低価格

湿式と乾式の切り替えが非常に簡単

より幅広い有機溶剤に対応可能な湿式フローシステム

21CFR Part 11 対応ソフトウェア

等が挙げられます。当然のことながら、旧機種がオプションとして備えていた回分セル・高濃度測定システムも用意されています。

加えて、SALD-2200 は従来の SALD-2000 シリーズとのデータ互換性を重視した設計になっており、粒度分布測定装置の導入においてよく取りざたされる旧機種とのデータの互換性や取引先とのデータの相関性についても、比較的問題を起しにくい装置です。

今回のニュースでは、SALD-2200 による粒度分布測定例をご紹介しますと共に、従来機種の SALD-2100 で同一試料を測定した結果をご紹介します。



Fig.1 SALD-2200 湿式フローシステムの外観写真

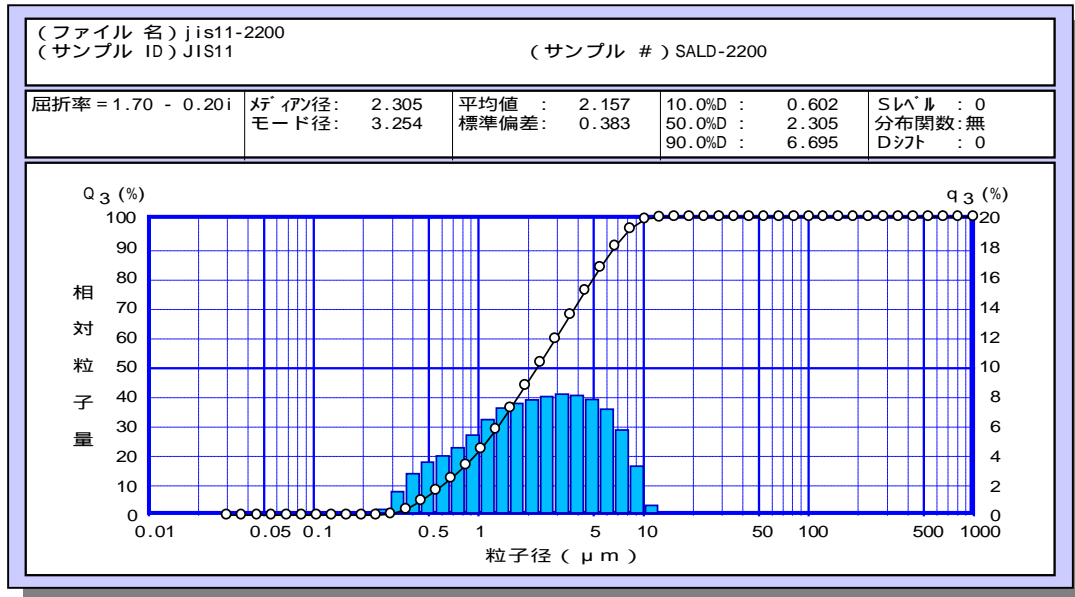


Fig.2 SALD-2200 による JIS 試験用ダスト 11 種の測定結果

Fig.2 は SALD-2200 湿式フローシステムで JIS 試験用ダスト 11 種を測定した結果です。

Fig.3 は SALD-2200 と SALD-2100 の 2 機種で JIS 試験用ダスト 11 種を測定した粒度分布曲線を重ね描きしたものです。2 機種での測定結果は非常に良く一致していると言えます。SALD-2200 の旧機種とのデータ互換性の高さがご理解いただけると思います。

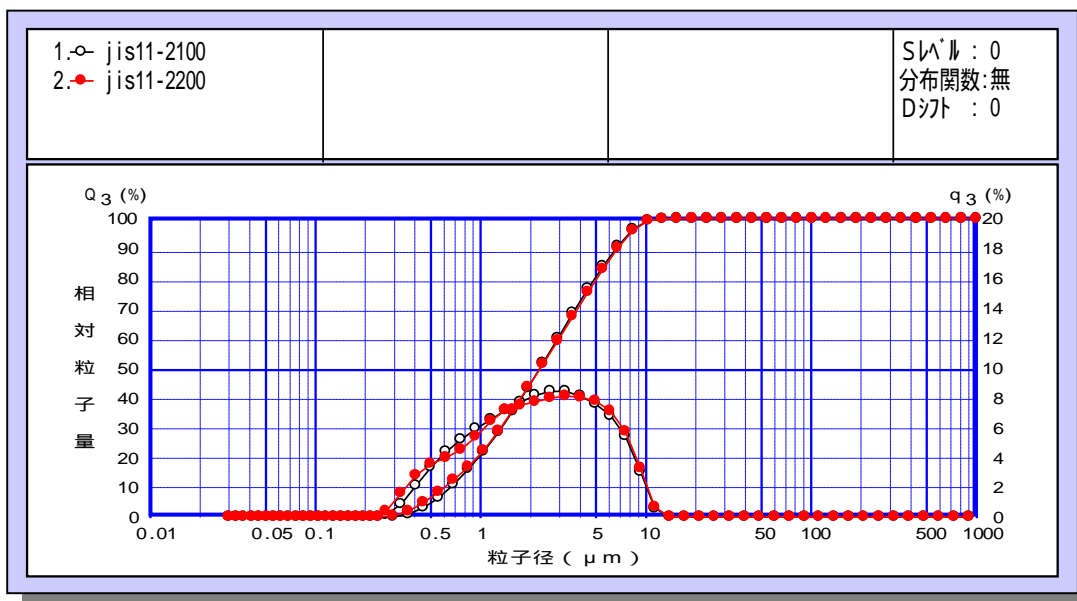


Fig.3 SALD-2200 と SALD-2100 による測定結果の比較